

卓 話

60周年を踏まえた 3ヶ年戦略計画展望について

- 長期計画委員会 委員長 荒井 伸夫
- 長期計画委員会 副委員長 渋谷 廣慶
- 長期計画委員会 委員会幹事 内山 泰成



ご挨拶
 ■ 長期計画委員会
 委員長 荒井 伸夫

ただいま第2次の最終年度
 になります。
 来年度からは、新しい第3
 次3年計画になります。

「ビジョン」について
 ■ 長期計画委員会
 副委員長 渋谷 廣慶



ビジョンについてお伝えいた
 します。
 本日は、皆様から意見をお伺
 いする、というスタンス。
 RIからの明確なロータリービジョン声明を改め
 てご覧いただきます。

ロータリーのビジョン声明

私たちは 世界で、地域社会で
 そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
 人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

「地域で一番になろう」
 今までやってきたクラブのビジョンですが、
 それを深めて方向性を作っていく必要がある
 と考えます。

第3次3年の計画を説明します。
 ■ 長期計画委員会 委員長 荒井 伸夫

クラブ・地区・RIとあり、これまでは別々にや
 ってきたが、それぞれの段差を埋めていこうと
 しています。

優先事項1: より大きなインパクトをもたらす	優先事項3: 参加者の積極的なかわりを促す
優先事項2: 参加者の基盤を広げる	優先事項4: 適応力を高める

クラブではクラブでやらなければいけないこと
 があり、その調和が難しいところです。



新しい長期計画の概要…クラブのビジョンを
 どこまでRIのビジョンに近づけるか

2022-23年度 大宮西ロータリークラブ戦略計画（案）

2022-23年度 大宮西ロータリークラブ戦略計画（案）			
ビジョン			
戦略目標① より大きなインパクトをもたらす インパクトのある奉仕活動により ブランドイメージを向上させ 魅力ある団体であり続ける	戦略目標② 参加者の基盤を広げる ロータリーへの新しい経路を創出し ロータリーの関与性とアピール力を高める 会員増強維持を図る	戦略目標③ 参加者の積極的なかわりを促す ロータリーの奉仕の機会を積極的に 経験と交流を深め 会員及び参加者の積極的な参加を促す	戦略目標④ 達成力を高める リスクを分散し、変化をもたらす 新しい視点や考え方を導入することで クラブ強化と適応力を高める
戦略ポイント ・ポリオの根絶 ・活動成果と測定能力の向上 ・感動を共有できる新規事業の開発	戦略ポイント ・日々の能力経験と考え方を生かす習慣 ・会員増強の新たな手段 ・他団体等クラブ外への働きかけ	戦略ポイント ・会員出席率向上と参加者増加の手段 ・新たな会員、参加者交流の方法 ・新会員対応や会員研修手法の確立	戦略ポイント ・奉仕活動の成果を可視化と共働きし ・組織体制、運営費の効率化と最適化 ・他団体を巻きながら新体制へ適応
3年目標 ①地域ニーズに合った成果検証ができる、 持続可能な新規事業の開発 ②グローバルな視点に立った環境問題、ポリオ 撲滅への取り組み ③事業で多くの参加者と交流し、クラブのブラン ドイメージを向上させる ④国内外に新規友好クラブの提携を進め、合同 奉仕活動を検討する	3年目標 ①全てのメンバーが会員増強に関わり 会員数150名、女性会員20名を達成 ②クラブ内外に幅広く多様なネットワー クを構築し、新しい参加経路を創出 ③ロータリーを積極的に内外の他へ発信 ④RACの強化と、RACの再編を検討 ⑤奉仕、会社との経験と交流を深めて、 参加者の基盤を広げ多様化する	3年目標 ①会員、参加者相互の交流の場を増やし ロータリーを楽しむ機会を増やす ②ロータリー経験を増やす研修を各段階毎 に実施しリーダーの育成を図る ③世代を超えた人的、職業的繋がりを 促しクラブの人流を活発化する ④参加者中心のプログラムを開発し、 会員満足度も向上させる	3年目標 ①奉仕活動の成果を可視化、事業の改善 や継続、持続を利する ②体制の最適化によりリスクを減らす ③新たな交流手段としてSNS、ZOOM等 効果的な手段を取り入れる ④会員増強にあった付合運営の工夫 ⑤組織体制を刷新し、60周年以降の 効果的な新体制の確立

■ 戦略目標① 「より大きなインパクトをもたらす」

インパクトのある奉仕活動によりブランドイメ
 ージを向上させ、魅力ある団体であり続ける

- 戦略ポイント
 - ・ポリオの根絶
 - ・活動成果と測定能力の向上
 （活動を測定して評価する）
 - ・感動を共有できる“新規事業”の開発
- 3年目標

- ①地域ニーズに合った“成果検証”ができる、
 持続可能な新規事業の開発
- ②グローバルな視点に立った環境問題、ポリオ
 撲滅への取り組み
- ③事業で多くの参加者と交流し、クラブのブラン
 ドイメージを向上させる
 （クラブ内でとどまらず外へも）
- ④国内外に新規友好クラブの提携を進め、合同
 奉仕活動も検討する
 （国内の友好クラブも。海外は英語圏のクラブ
 はどうだろう…英語に接する機会を）
 来年の世界大会はメルボルン。
 新しい友好クラブを。

■ 戦略目標② 「参加者の基盤を広げる」 （外部の人をどう取り込むかが大事）

ロータリーへの新しい経路を創出し、ロータリ